

## 令和6年度 第2回 学校運営協議会 議事録

- 1 期 日：令和6年7月11日（木） 17：30～18：30
- 2 場 所：図書室
- 3 出席者：委員（校長含む）5名、事務局2名
- 4 会次第
  - (1) 開会
  - (2) 学校長挨拶
  - (3) 報告・協議事項 i
    - ① 学校生活の様子
      - ・「楽しい学校とするためのアンケート」結果報告
    - ② 在籍生徒の状況報告
      - ・外国出身又は外国にルーツがある生徒及び不登校を経験した生徒の学習状況報告
  - (4) 授業参観
  - (5) 報告・協議事項 ii
    - ③ 学習支援員募集状況及び学生ボランティア実施に向けた申請等について
      - ・学習支援員募集状況報告
      - ・学生ボランティア実施に向けた申請等について
  - (6) 諸連絡

### 5 議事録（○委員、●校長・事務局）

#### 《学校生活の様子》

- 日本語指導についてはどのような様子か。
- 日本語指導担当教員がコーディネートをして指導を行っている。日本語指導担当教員及び非常勤講師がペアを組んで指導に当たっている。また、生徒及び保護者の希望により、0校時に日本語指導を実施している。
- 6月から開始したコース制での授業はどのような様子か。
- 生徒一人一人の学習履歴や本人の希望に応じたコースで学ぶことができるようになった。その一方、3コースで授業を行っているため、2クラス展開での授業を行っていた時に比べると指導・支援にあたる教員の数がどうしても少なくなる。
- 先生方がきめ細かに支援をされていることが分かった。

#### 《在籍生徒の状況報告》

- 不登校を経験して入学した生徒には、生徒に3年間で何を身に付けてほしいのかを定めるとともに、ストレス耐性や限界値を見立てる必要がある。ゲーム感覚で達成感を味わうことができるような問題が効果的である。
- 学校に来ているだけでもすごいことである。学校での約束事が限界値を超えないようにしな

ければならない。

- 生徒一人一人の状況が違うため、支援もそれぞれ違う。先生方は大変だと実感した。きめ細かに指導をしていただいている。
- 生徒の状況に配慮して先生方が指導をしていることは生徒に伝わっていると思う。困難を抱えている生徒に対し関わっていきたいと感じた。

《授業参観後》

- 生徒一人一人に寄り添っていただいている。何かできることがあれば支援をしたい。学校に登校するだけでもすごいことだと思う。じっくり見守ってほしい。
- 生徒の様子が分かった。先生方は生徒の状況に応じて授業をされているが、授業研究が必要になってくると感じた。生徒のケアについては、学校運営協議会委員がアドバイスしていくことが役割だと思っている。